

# 山梨市教育大綱

平成29年3月策定  
令和5年3月改定  
山梨県山梨市

## 目 次

はじめに	.....	1
これまでの経緯	.....	2
大綱の期間	.....	2
大綱の基本的な考え方	.....	2
基本政策等		
1 山梨市の将来像と大切にしたい価値観、及び教育理念		
（1）将来像	.....	3
（2）山梨市の大切にしたい価値観	.....	3
（3）教育理念	.....	4
2 教育理念（長期ビジョン）を達成すべき教育施策等の方向性		
地域と人々がつながるまちへ	.....	5
文化・伝統を未来につなぐまちへ	.....	5
未来の人材を育てるまちへ	.....	6
地域と学校がつながるまちへ	.....	7

## はじめに

「山梨市教育大綱」の策定から6年が経過し、当該大綱にて描いた目標は、関係団体等との連携により着実に実現に向け進んでいるところです。

一方で、昨今の自然災害の激甚化、コロナ禍を契機とした生活スタイルの変化と急速なICTの普及に加え、国際情勢の急変による物価高騰など、市民生活や教育を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした例のない時代の変化に対応しながら、これからも市民一人ひとりが将来に夢や希望を持ち、学ぶことを通じて生涯にわたって幸せと充実感のある暮らしを送るためには、住民自らが地域運営の担い手として主体的に関わる事が重要であると考えます。

これらを踏まえ、今般の改定に際し、これまでの教育大綱の基本理念を継承しつつ、第2次山梨市まちづくり総合計画長期ビジョンや第2期中期計画、その他関係計画から導き出された「デジタル技術（教育DX）」、「SDGs」、「寄り添った教育」、「多様性（ダイバーシティ）」、「郷土愛」を新たな視点として、現行大綱を見直すこととしました。

本市ではこれまでも、子どもたちが生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む教育に積極的に取り組み、夢の実現に向かってしっかり努力し、ふるさとの発展を志向できる子どもの育成に注力してきました。

今後も、子どもたちの「生きる力」を育む学校教育を推進するとともに、幅広い分野で多くの市民の皆様に子どもたちの「学び」と「育ち」を支えていただいていることから「地域とつながる学校」の建設に努めます。

また、市民の皆様の「学びの機会を広げる」「教育の質を高める」といった観点から、社会教育の推進が今まで以上に重要になります。現在も社会教育・地域コミュニティの中核施設としての役割を果たしている公民館においては、人づくりにとどまらず、人と人とのつながりづくりを進め、環境、地域福祉、防災など、住民の自助・共助による持続可能な地域づくりを目指します。

本市では、今後も、新しい教育大綱の下で本市の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図っていきます。

## これまでの経過

平成27年に、地方公共団体の長と教育委員会とのさらなる連携の強化等を目的に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、これにより本市においても、市長、教育長及び全ての教育委員で構成する「総合教育会議」を設置するとともに、本市の教育、学術及び文化の振興に関する施策の根本となる方針や目標を「教育大綱」として平成29年4月に策定しました。

以降、毎年総合教育会議を開催し、本市教育行政が直面する課題等について、市長と教育委員会とが議論と協議を重ねてまいりました。

一方で、社会情勢の変化や地域課題の多様化は、本市教育行政にも影響を及ぼしている実情もあるため、将来を見据え、教育行政を時代に即し効率的に推進すべく、新たに「デジタル技術（教育DX）」「SDGs」「寄り添った教育」「多様性（ダイバーシティ）」「郷土愛」の視点を「基本施策等」に含め、教育施策の充実を図るため、教育大綱の改訂を行いました。

## 大綱の期間

教育大綱の対象期間は、令和5年度から令和8年度までの4年間とします。

ただし、社会情勢の変化等を踏まえ、総合教育会議において協議・調整を行う中で、必要に応じて見直しを行うこととします。

## 大綱の基本的な考え方

教育大綱では、国の第3期教育振興基本計画を参酌しつつ、第2次山梨市まちづくり総合計画の将来像と基本構想における教育の基本方針を理念とし、教育委員会が定めた「山梨市学校教育指導重点」などの教育施策の方向性と、山梨市生涯学習推進計画等の関連する計画・指針で定める方向性を網羅し、併せて、令和4年3月に策定した第2期山梨市総合戦略に位置付ける教育施策を、本大綱で「基本政策」として位置づけ、推進していきます。

## 基本政策

### 1 山梨市の将来像と大切にしたい価値観、及び教育理念

#### (1) 将来像

#### 「 誇れる日本を、ここ山梨市から。 」

本市には自然や景観を含め、全国のどこよりも誇れるものがあり、それらを市民とともに守り、積極的に発信していく。

また、これからの時代の変化に合わせ、日本の先端をいくような取り組みにも挑戦し続け、誇れるものを生み出していく山梨市を目指す。

#### (2) 山梨市の大切にしたい価値観

本市では、歴史と伝統に根ざしながら、そこに暮らす一人ひとりを尊重した温もりのある地域が形づくられてきました。

そうした市民生活のなかで共有されてきた思いを体して、次の三つをこれからの本市まちづくりにあたって大切にしていきたい価値観として位置付けます。

#### 人のつながりとコミュニティを大切にしていきたい

本市では自治会への加入率が全国平均より高く、地域コミュニティがしっかりと根付いています。

こうした自治会をはじめとした開かれたコミュニティで、様々な人々がつながりながら、地域課題を解決していきます。

そうした人のつながりと、コミュニティを大切にしたまちづくりを進めていきます。

### 自然と共生する暮らしを大切にしていきたい

本市では面積の８割を森林が占め、果樹を中心とした農業が基幹産業となっており、市民は都会の人々がうらやむような、自然に囲まれたのどかな生活を享受しています。

やみくもに開発を進めるのではなく、豊かな自然や果樹園の風景の中で落ち着いて暮らせる環境を大切にしながらまちづくりを進めていきます。

### 伝統と先進性が共存する気風を大切にしていきたい

本市には数多くの伝統・文化が存在し、脈々と地域に引き継がれてきました。

それらの良き伝統を守りながらも、将来を見据え、時代の変化にも対応しつつ、先進的なことにも臆することなくチャレンジしていく。そうした気風を大切にしながらまちづくりを進めていきます。

## （３）教育理念

第２次山梨市まちづくり総合計画長期ビジョンでは、市民の一人ひとりの生き方や暮らし方に視点をおきつつ、将来にわたりこうありたいと考える５つの目指すべき姿をあらわしています。

このうち、以下にある教育文化に係る姿（ビジョン）を、本大綱の教育理念とします。

### 「市民が手をつなぎ、教育と文化を育む山梨市」

本市では、世代を超えた地域コミュニティが活発で、各地の文化財・伝統芸能を発表し合ったり、地域の宝である子供のために、学校と連携して豊かな活動を活発に行っています。

多くの市民は、文化を楽しみ心豊かな生活を送ることができ、子ども達は、確かな学力や社会で必要な素養を身に着けて、立派に育ちゆくことをビジョンとして掲げます。

## 2 教育理念（長期ビジョン）を達成すべき教育施策の方向性

第2次山梨市まちづくり総合計画長期ビジョンで位置付ける教育理念を達成するため、教育施策の目指すべき方向性について、次の4つの方向性を掲げ、現状と課題に対する対応の方向性を計画しています。

### <目指す方向1> 地域と人々がつながるまちへ

#### （1）地方創生を担う多様な主体との連携及びひとづくりに取り組みます

地方創生の取組みをさらに深化し、広げていくためには地域運営組織や地域商社、また、地域課題の解決に取り組む組織が重要です。

公民館などの社会教育関係の施設をはじめ、青年会議所、商工会、J A、社会福祉協議会など既存の組織やひとが連携し、地域の人材育成の取組みを推進し、「ひとづくり」を通じた地域活性化を図ります。

#### （2）スポーツ資源を活用した地域経済の活性化に取り組みます

本市には山・川など豊富な地域資源が存在しており、それらを活用したスポーツツーリズムの開発、イベントの開催、大会などスポーツを通じた交流の促進が可能です。

訪日外国人旅行者のニーズが高いアウトドアスポーツのみならず、整備されたスポーツ施設も地域資源ととらえ、まちづくりや地域経済活性化の核とする取組みを推進します。

### <目指す方向2> 文化・伝統を未来につなぐまちへ

#### （1）文化財を活用したまちづくりに取り組みます

本地域の特色ある文化は、地域の活力を生むものであり、文化の力を活かした地域活性化を図るとともに、理解と関心を高めるための地域内外への発信が重要です。

このため、地域の文化・伝統を、未来へ引き継ぐ重要な資産と位置づけ、良好な景観の形成、歴史・文化・風土を活かしたまちづくりの推進、街並みなどと連携した文化財の保存・活用の促進、デジタル技術を活用

した歴史文化の魅力発信及び未来への継承を図ります。

## (2) 地域資源を活用した郷土教育に取り組みます

峡東地域の農業遺産や甲武信ユネスコエコパークなど国際的な制度により登録・認定される自然豊かな環境を保全しつつ、それらの特性を積極的に活用した地域づくりを展開します。

また、本市特有の文化財を総合的かつ計画的に保存・活用する取組みを推進するとともに、文化資源の価値を最大限活かした活用モデルの構築にも取り組む中で、地域の魅力発見による郷土教育（ECHOES学習）を進めます。

## <めざす方向3>未来の人材を育てるまちへ

### (1) 幼児期から切れ目ない教育をさらに推進します

基礎的、基本的な学力の定着に加え、自らが主体的に学び、自らの力で問題解決を実行する「生きる力」「考える力」を育むため、思考力、判断力、表現力などの定着を図ります。

子ども達に寄り添った教育を推進するため、関係機関との連携を通じ、個に応じた学習支援や、保護者と子どもの心配事について相談に応じる教育支援センターを設置します。

このほか、「やまなし寺子屋」による学習支援も引き続き実施するなど、児童生徒一人ひとりの多様な課題に対応し、適切な対応ができるよう手を差し伸べ寄り添う教育の実現を目指していきます。

また、引き続き本市における子育て環境の魅力向上を図るため、企業版ふるさと納税を活用しながら「公立保育園幼稚園英語幼児教育事業」を実施します。英語を楽しみながら親しむ機会を設けることで、幼児期における英語力の基礎を培います。

教育特例校としてのこれまでの成果を踏まえ、デジタル教科書やタブレット端末を積極的に活用することにより、新学習指導要領に対応した実践的な英語教育を行います。これらの国際的な感覚や豊かな感性を育てる事業を実施することで、魅力ある子育て環境の充実を図ります。



## (2) GIGA スクール構想実現などの教育環境整備に取り組めます

コロナ禍がもたらした非日常の様式は、教育現場にも大きく影響を及ぼすこととなり、特に我が国全体の問題として、情報通信技術の遅れが顕著に表れたところです。

このような状況を踏まえると、ICTを活用した中で児童生徒を誰一人取り残すことなく寄り添った教育を行うことが急務と考えられます。

このため、教育現場におけるICTの活用を更に推進し、学習支援・校務支援を強化するための環境整備に取り組めます。

また、これらを活用するためには、教職員のICT活用技術も高める必要があることから、指導者側の教育支援にも努めるとともに、誰もが教育を受けられる支援を更に加速します。

教育分野では、教育の質の向上に向けた遠隔教育などのデジタル技術の活用を進めるとともに、その基盤となる学校のICT環境整備を進めます。

## (3) 教育環境の整備と保護者等の負担軽減に取り組めます

本市ではこれまでも教育環境の整備に取り組んで来たところであり、今後も教職員・指導員の指導体制の整備、良好な学校施設の整備、教材等教育環境の負担軽減を含めた充実に取り組んでいきます。

この他、義務教育課程を終え、自らが希望する学習環境を求めた結果、県外の高校や大学に進学する学生も見られ、このような学習意欲のある学生に対しての支援にも取り組めます。

## <めざす方向4>地域と学校がつながるまちへ

### コミュニティスクールと郷土を誇れる人材育成に取り組めます

本市では、学校と地域住民等が力を合せて学校の運営に取り組むことが可能となる「コミュニティスクール」を市内全学校で推進し、学校運営に地域の声を積極的に活かし、地域と一体になって学校づくりを進めていきます。

また、本地域では、他地域では見られない特色ある伝統的な学校行事等を催しており、これらの行事をとおした人間関係の形成や連帯感の深化を図る中で、自主的、実践的な児童生徒を育てます。

本地域で育まれた伝統・文化を尊重し、地域社会の一員として郷土を愛し、進んで郷土の発展に関わる人材を育成するため、学校のみならず地域とともに取組めます。

#### 【本市教育行政における SDGs の推進について】

本市は、国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）を推進しています。この大綱を推進するにあたり、教育行政においても SDGs を意識した施策を展開し、持続可能なまちづくりを目指します。

## Memo



山 梨 市